

## 実績確認概要書

平成 28 年 8 月 19 日  
ビューローベリタスジャパン株式会社

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	照明設備の更新プロジェクト
承認番号	KC1430
排出削減事業者名	株式会社ウェルカム
排出削減共同実施事業者名	株式会社F Tカーボン (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	George's 沼津店 (住所：静岡県沼津市高島本町 1-5 イシバシプラザ 1F) George's トレッサ横浜店 (住所：神奈川県横浜市港北区師岡町 700 トレッサ横浜 南棟 1F) George's 仙川店 (住所：東京都調布市仙川町 3-9-15 モン・ヴァージュ仙川) George's 京都店 (住所：京都府京都市中京区烏丸通姉小路下ル場之町 586-2 新風館 1F) George's 国立店 (住所：東京都国立市中 1-17-2) George's モリタウン昭島店 (住所：東京都昭島市田中町 562-1 モリタウン 1F) George's 流山おおたかの森店 (住所：千葉県流山市西初石 6-185-2 流山おおたかの森 S C 2F) George's ジャズドリーム長島店 (住所：三重県桑名市長島町浦安 368 三井アウトレットパークジャズドリーム長島 2F)
事業の概要	照明設備 1,204 台を省電力型に更新し、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2012 年度 85tCO2/年 (国内クレジット事業実施期間合計 85tCO2)

	2013年度 103tCO2/年 2014年度 101tCO2/年 2015年度 101tCO2/年 2016年度 101tCO2/年 2017年度 101tCO2/年 2018年度 101tCO2/年 2019年度 101tCO2/年 2020年度 25 tCO2/年 (J-クレジット事業実施期間合計 734tCO2)
クレジット認証期間	開始予定日 2012年7月3日 終了予定日 2020年7月2日
排出削減方法論	方法論番号 006「照明設備の更新」

## 2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2016年3月31日（第2回目実績報告）

## 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	298tCO2 (2013年4月1日～2016年3月31日)
-------	-----------------------------------

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 第2回目のため該当なし。 2) 対象期間中の設備稼働確認 導入した LED 照明設備は実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間における各店の営業日、休館日、1日の営業時間の記録等により確認した。また、サンプリングで George's モリタウン昭島店を訪問し、ランプ外し、消灯の有無をチェックしたが、全て承認事業計画通り運用されていることを確認した。

<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること</p>	<p>1) モニタリング方法の確認 関係者への問合せ、事業実施前後の照明設備の消費電力の記録、営業日、休館日の記録及び店舗ごとの営業時間の確認等により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、モニタリングが実施されていることを確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性 関係者への問合せ、営業日・休館日・1日の営業時間の記録等の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、LED照明の点灯時間の記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 使用されている排出係数等がJ-クレジット制度・モニタリング・算定規程(排出削減プロジェクト用)ver2.5及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。尚、単位発熱量に関連する燃料は無い。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p>
<p>算定期間が2020年7月2日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2013年4月1日～2016年3月31日までであり、排出削減量を算定した期間が2020年7月2日を超えないことを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）なし。

## 6. 特記事項

省エネルギー量は、原油換算値で137.9kLであることを確認した。

以上